

林業經濟学会 2022 年秋季大会
発表要旨集

2022 年 12 月 2 日（金）～5 日（月）

京都大学農学部

林業経済学会 2022 年秋季大会

【会期】 2022 年 12 月 2 日（金）～12 月 5 日（月）

【場所】 京都大学吉田キャンパス北部構内 農学部総合館
(JR 京都駅下車、京都市バス「17 系統」で「京大農学部前」バス停下車)
<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access>

【日程】 12 月 2 日（金）各種委員会、理事会、評議員会

- 14:30～15:30 70 周年記念事業特別委員会（農学部総合館、森林科学専攻会議室 S124）
- 15:40～16:20 表彰委員会（農学部総合館、森林科学専攻会議室 S128）
編集委員会（同上 S130）
- 16:30～19:00 理事会・評議員会（農学部総合館 W106）

12 月 3 日（土）

- 9:30～12:10 研究発表（農学部総合館、W100・W314・W322）
- 13:00～14:30 自由集会「これからの林業経済学会を語ろう：学会 70 周年へ向けて」（林業経済学会 70 周年記念事業特別委員会）（農学部総合館、W100）
- 14:40～17:50 研究発表（農学部総合館、W100・W314・W322）

12 月 4 日（日）

- 9:30～12:10 研究発表（農学部総合館、W100・W314・W322）

12 月 5 日（月）エクスカージョン（南丹市美山町・芦生研究林）

【2022 年秋季大会運営委員会】

栗山浩一・坂野上なお・高柳敦・竹田晋也・内藤大輔・平野悠一郎・松下幸司

【自由集会「これからの林業経済学会を語ろう：学会 70 周年へ向けて」】

日時：12月3日（土）13:00～14:30

場所：農学部総合館 W100（研究発表の A 会場です）

趣旨：2022年3月に、林業経済学会 70 周年記念事業特別委員会が発足しました。これまで委員会で議論を重ね、様々な提案がでてきました。委員だけでなく、会員の皆様からの幅広い意見もうかがいながら、さらに有意義な企画へと発展させたいと考えております。そこで、秋季大会期間中に、会員の皆さんから貴重なご意見をいただく場としての自由集会を開催します。大会開催中の限られた時間ではありますが、できる限り多くの皆様のご参加を期待しています。

日程（予定）：

- ・特別委員会でのこれまでの議論（30分）
- ・参加者の皆さんからご意見をいただく（50分）
- ・今後の予定（10分）

本企画に合わせて、アンケートなどを実施する予定です。

担当：柴崎茂光（70周年記念事業特別委員会委員長）

【エクスカージョン】

日程：12月5日（月）日帰り（貸し切りバス往復）

訪問先：京都府南丹市美山町芦生研究林ほか京都丹波高原国定公園関係施設

集合場所：京都大学吉田キャンパス北部構内、旧演習林事務室前（下記 MAP 建物番号 15）
（JR 京都駅下車、京都市バス「17 系統」で「京大農学部前」バス停車）

費用：7,000～12,000 円（昼食代別）

費用は概算であり、参加人数により変動します。金額が確定次第参加者にお知らせします。学生価格を設定する予定です。費用は当日徴収します。直前のキャンセルの場合、100% 頂戴することがあります。

8:20 集合、健康観察、消毒等

8:30 出発

10:30 京都丹波高原国定公園ビジターセンター見学
（南丹市美山町安掛下 23、道の駅「ふらっと美山」）

11:30 重要伝統的建造物群保存地区「かやぶきの里」見学
（南丹市美山町北）

12:30 昼食・移動

13:30 京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林 見学
（南丹市美山町芦生）

16:00 芦生研究林出発

18:00 京都大学・JR 京都駅・JR 二条駅にて解散

担当：坂野上なお（京都大学フィールド科学教育研究センター）

【会場地図】

京都大学・北部構内マップ

(<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r-n>)

農学部総合館

受付・休憩室 (W106)、A会場 (W100)、B会場 (W314)、C会場 (W322)

70周年記念事業特別委員会 (S124)、表彰委員会 (S128)、編集委員会 (S130)

理事会・評議員会 (W106)



1階 (受付・休憩室、A会場、
理事会・評議員会)
3階 (B会場、C会場)

1階、各種委員会

農学部総合館

【発表者の皆様へ】

- (1) プログラムでは、各発表に 30 分を割り当てています。発表 20 分、質疑応答 5 分、次の発表者との入れ替え 5 分です。
- (2) 発表に使用できる機材は液晶プロジェクターです。新型コロナウイルス対策のため、PC は各自が持参のものを使用することとします。
- (3) 発表 3 件ごとに休憩時間を設けています。発表会場の換気にご協力下さい。

【スケジュール】

月日	時間帯	A会場 W100	B会場 W314	C会場 W322
12月3日 (土)	9:30 - 10:00	A1	B1	
	10:00 - 10:30	A2	B2	C2
	10:30 - 11:00	A3	B3	C3
	11:00 - 11:10	休憩		
	11:10 - 11:40	A4	B4	C4
	11:40 - 12:10	A5		C5
	12:10 - 13:00	昼食		
	13:00 - 14:30	自由集会		
	14:30 - 14:40	休憩		
	14:40 - 15:10	A6	B5	C6
	15:10 - 15:40	A7	B6	C7
	15:40 - 16:10	A8	B7	C8
	16:10 - 16:20	休憩		
	16:20 - 16:50	A9	B8	C9
	16:50 - 17:20	A10	B9	C10
	17:20 - 17:50	A11	B10	C11
12月4日 (日)	9:30 - 10:00	A12	B11	C12
	10:00 - 10:30	A13	B12	C13
	10:30 - 11:00	A14	B13	C14
	11:00 - 11:10	休憩		
	11:10 - 11:40	A15	B14	
	11:40 - 12:10	A16	B15	

林業経済学会2022年秋季大会プログラム

【1日目】2022年12月3日（土）

A会場（農学部総合館・W100）		B会場（農学部総合館・W314）		C会場（農学部総合館・W322）	
開始	発表番号・発表者・題目	座長	発表番号・発表者・題目	座長	発表番号・発表者・題目
9:30	A1 岡裕泰（森林総研）ほか 世界の林産物生産における投入産出関係と需給の長期推計		B1 栗山浩一（京都大）ほか 新型コロナウイルス感染症対策が国立公園に及ぼした影響の経済分析		
10:00	A2 道中哲也（森林総研）ほか 製材工場における素材の入荷量、価格と在庫量の影響要因の再考：ARDLモデルを用いて	藤掛一郎（宮崎大）	B2 亀崎萌衣（京都大） 世界遺産登録地域の住民が、観光客に期待する協力金支払額：徳之島におけるCVMを用いたアンケート調査に基づく分析	高橋卓也（滋賀県立大）	C2 堀靖人（森林総研）ほか ドイツの森林組合と林業連合の木材販売をめぐる動向
10:30	A3 前川洋平（道立総合研究機構）ほか 北海道における建築用材の北海道産木材自給率の推計		B3 佐賀彩美（北海道大）ほか ニセコルールにみるリスクガバナンスによるバックカントリー雪崩事故防止の試み		C3 笹田敬太郎（森林総研）ほか 市町村における林道の維持管理実態を踏まえた路網情報整備のあり方の検討
11:00	休憩		休憩		休憩
11:10	A4 藤掛一郎（宮崎大） 1890年から2020年までの長期にわたるスギ人工林経営の収益性評価	岡裕泰（森林総研）	B4 松村菖（東京農工大）ほか 新潟県上越市不動地区における集落と民家の変遷：建物台帳、家長名簿、災害記録に着目して	坂野上なお（京都大）	C4 奥山洋一郎（鹿児島大）ほか 学校林保有校の管理・利用状況の変化：学校林現況調査の各年度データの接続から
11:40	A5 竹中昂平（京都大） 原木生産および製材に対する補助金の余剰分析				C5 藤原敬（林業経済研究所） 企業による森林づくり：脱炭素経営に向けた取組と森林の吸収量への関心
12:10	昼食		昼食		昼食
13:00	自由集会「これからの林業経済学会を語ろう：学会70周年へ向けて」 林業経済学会70周年記念事業特別委員会				
14:30	休憩				
14:40	A6 吉村武洋（岩手大） 地方森林環境税導入団体の一考察：長野県森林づくり県民税を中心に		B5 根本和宜（東北大）ほか 木質バイオマスエネルギーの都道府県別利用目標と持続性を考慮したポテンシャル分析		C6 高橋卓也（滋賀県立大）ほか 自伐林業者と森林組合の関係性に関する研究：全国アンケート調査から
15:10	A7 江田星来（筑波大）ほか 森林経営管理制度における広域連合の役割：長野県木曾郡を事例に	石崎涼子（森林総研）	B6 古俣寛隆（道総研林産試）ほか 木質チップによる温水熱供給の事業性評価：北日本の複数自治体を事例として	横田康裕（森林総研九州）	C7 多田忠義（農林中金） 中山間地域における所有山林の管理と継承意向に関する一考察
15:40	A8 森一真（滋賀県立大）ほか 森林環境譲与税を活用した事業が経済・環境へ与える影響：経済波及効果と環境便益の推定		B7 長坂健司（東京大）ほか 製紙企業によるサステナビリティ情報の開示戦略		C8 平山智貴（九州大）ほか NPOが森林所有者と地域林業に果たす役割：NPO法人ふるさと創生を事例に
16:10	休憩		休憩		休憩
16:20	A9 海保直紀（北海道大） 北海道の市町村における森林環境譲与税の運用実態		B8 古里孝志（鹿児島大）ほか 徳之島におけるコーヒー栽培の現状と課題		C9 弓田耕大（早稲田大）ほか 地方移住者が地域コミュニティに定着する過程に見る個人差と共通点：山梨県早川町の事例より
16:50	A10 鈴木春彦（豊田市） 市町村における施策体制と自治体特性等の関係	栗山浩一（京都大）	B9 田中実里（早稲田大）ほか 定飼養蜂の持続可能性の多面的評価：沖縄県本島を事例として	竹田晋也（京都大）	C10 山本美穂（宇都宮大）ほか 民有林育成林業の展開過程と女性のライフコース
17:20	A11 福田淳（林野庁）ほか 「地域林政アドバイザー」の現状：アンケート調査の結果から		B10 志賀薫（森林総研）ほか 全国の「道の駅」における林産物商品化の要件		C11 尾分達也（兵庫県立大） 木材価格高騰時の素材生産事業体の経営対応：岡山県を事例に

【2日目】2022年12月4日（日）

A会場（農学部総合館・W100）		B会場（農学部総合館・W314）		C会場（農学部総合館・W322）	
開始	発表番号・発表者・題目	座長	発表番号・発表者・題目	座長	発表番号・発表者・題目
9:30	A12 松本美香（高知大）ほか 高知県における花粉症対策苗木の流通に向けた課題		B11 土屋智樹（東京農大）ほか 群馬県における戦時薪炭統制政策の展開		C12 小菅良豪（にちなん中国山地林業アカデミー） 林業大学校における林業教育の現状と課題
10:00	A13 横田康裕（森林総研九州） 熊本県におけるセンダン植林普及モデル構築の取組	平野悠一郎 （森林総研関西）	B12 林田朋幸（帝京大） 三重県飯高地区の山世話による戦後私有林管理：林業労働組織の作業日報分析から	柴崎茂光 （東京大）	C13 滝沢裕子（岩手大）ほか 持続可能な森林管理における林業労働者へ求められる像と実態：静岡県と山梨県の認証林を例に
10:30	A14 石崎涼子（森林総研） 林業普及事業における知識・技術の変遷		B13 古賀達也（京都大） 奈良県吉野郡川上村の戦後狩猟史		C14 川崎章恵（愛媛大） 林業における労災保険特別加入制度と一人親方団体を取り巻く状況
11:00	休憩		休憩		
11:10	A15 松本滉成（東京農工大）ほか 拡大造林の政策および統計の再検討：所管別・地域別の視点から	松下幸司 （京都大）	B14 西川希一（鹿児島大）ほか 森林組合における「山の神」祭行事の現状と地域性による特徴の考察	内藤大輔 （京都大）	
11:40	A16 上野竜大生（九州大）ほか 戦後の東北地方ではどこに木が植えられたのか？：1960年世界農林業センサスを用いた人工林植生履歴の復元		B15 小嶋宏亮（北海道大） アイヌ民族の森林利用の課題解決に向けた取り組みの実態		